



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社
 コード番号 1728 URL <http://www.misawa-chugoku.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月1日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 南雲 秀夫
 (氏名) 服部 広征
 TEL 086-245-3204

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,556	△21.6	△581	—	△568	—	△484	—
29年3月期第3四半期	21,128	5.6	△72	—	△65	—	△79	—

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 △491百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△42.12	—
29年3月期第3四半期	△6.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	20,332	6,077	29.9	528.19
29年3月期	19,411	6,627	34.1	575.91

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 6,077百万円 29年3月期 6,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△16.5	410	△71.2	400	△71.8	270	△64.5	23.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,540,180 株	29年3月期	11,540,180 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	33,862 株	29年3月期	32,982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,506,513 株	29年3月期3Q	11,508,195 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種指標の前年比プラス転化あるいはプラス幅増大など、企業収益の堅調さを示す結果が見受けられます。その一方で、地政学リスクや金融市場の変動を懸念材料に先行きの不透明な状況が続いており、その影響には留意する必要があります。

住宅業界におきましては、住宅ローンの低金利状況の長期化を背景に、全般的には底堅く推移しているものの、持家、貸家が前年同月比6ヶ月連続の減少となるなど、今後の動向を注視する必要があります。

こうした状況の中、当社グループは、住宅市場動向の急速な変化に対応し、住まいに関する多種多様なニーズを捉え、継続的な収益に結び付けるべく、将来を見据えた事業ポートフォリオの最適化を目指した取組を推進してまいりました。

住宅請負事業におきましては、新商品や住まいの新しい提案を紹介する全国一斉「GOOD!住まいフェア」を開催し、受注拡大に向けた住まいの様々なニーズに対応する取組みを推進し、需要喚起に努めてまいるほか、市場におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)への関心の高まりに対応するため、ZEH仕様住宅の積極的な受注活動を推進してまいりました。

分譲事業におきましては、前連結会計年度に引き続きミサワホームグループの分譲ブランドマンションとして「アルビオ・ガーデン」シリーズを販売しております。岡山県では岡山市で2棟、倉敷市で1棟それぞれ販売を開始するほか、広島県でも広島市で新たに1棟の販売を開始しました。

ホームイング事業におきましては、オーナー様向けのリフォーム相談会を開催するなど、特に大型リフォーム工事の商談、受注促進のための活動を強化するとともに、非住宅分野のリフォーム事業など、新たな商談機会の展開にも注力してまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高16,556百万円(前年同期比21.6%減)、営業損失581百万円(前年同期は72百万円の営業損失)、経常損失568百万円(前年同期は65百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失484百万円(前年同期は79百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅(木質、鉄骨、MJ Wood)と賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、引渡棟数の減少により減収となりました。

この結果、売上高9,513百万円(前年同期比6.7%減)、セグメント損失259百万円(前年同期は241百万円のセグメント損失)となりました。

②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地の販売及び買取再販事業によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、分譲マンションの引渡戸数が減少したため減収となりました。

この結果、売上高2,812百万円(前年同期比58.8%減)、セグメント利益61百万円(前年同期比87.7%減)となりました。

③ホームイング事業

ホームイング事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、前連結会計年度に受注した大型工事の完工引渡しが増加したため増収となりました。

この結果、売上高3,205百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益220百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、手数料収入が減少したものの、メンテナンス工事収入の増加により増収となりました。

この結果、売上高1,024百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント損失4百万円(前年同期は49百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して921百万円増加しました。これは主に現金預金が3,226百万円、分譲土地建物が298百万円それぞれ減少する一方、未成工事支出金が1,704百万円、未成分譲支出金が2,337百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1,470百万円増加しました。これは主に工事未払金が401百万円、未払法人税等が226百万円それぞれ減少する一方、未成工事受入金が1,698百万円、短期借入金が651百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較して549百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,957,085	2,730,549
完成工事未収入金	116,053	97,732
分譲土地建物	3,550,731	3,251,737
未成工事支出金	811,172	2,515,842
未成分譲支出金	2,531,747	4,869,648
貯蔵品	5,220	4,992
その他	1,048,560	1,449,808
貸倒引当金	△627	△345
流動資産合計	14,019,943	14,919,967
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	601,881	637,096
土地	3,405,036	3,405,036
その他(純額)	94,155	24,802
有形固定資産合計	4,101,072	4,066,935
無形固定資産	65,261	53,650
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	74,467	98,383
その他	1,161,960	1,204,737
貸倒引当金	△11,279	△11,229
投資その他の資産合計	1,225,149	1,291,890
固定資産合計	5,391,482	5,412,476
資産合計	19,411,426	20,332,443

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,544,462	1,508,444
工事未払金	937,349	535,532
分譲事業未払金	95,772	10,132
短期借入金	4,975,193	5,627,047
未払法人税等	232,093	5,731
未成工事受入金	1,491,432	3,189,470
賞与引当金	316,400	110,000
完成工事補償引当金	259,962	252,006
その他	1,146,392	1,109,970
流動負債合計	10,999,057	12,348,335
固定負債		
長期借入金	1,513,051	1,668,238
役員退職慰労引当金	61,200	73,851
退職給付に係る負債	77,158	40,623
その他	133,875	123,852
固定負債合計	1,785,285	1,906,565
負債合計	12,784,342	14,254,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	4,346,886	3,804,716
自己株式	△7,816	△8,066
株主資本合計	6,595,518	6,053,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,956	75,379
退職給付に係る調整累計額	△27,390	△50,935
その他の包括利益累計額合計	31,565	24,444
純資産合計	6,627,083	6,077,542
負債純資産合計	19,411,426	20,332,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,128,253	16,556,224
売上原価	17,031,968	13,318,876
売上総利益	4,096,285	3,237,347
販売費及び一般管理費	4,168,615	3,818,684
営業損失(△)	△72,330	△581,336
営業外収益		
受取利息	4,796	2,955
受取配当金	4,985	5,032
受取手数料	27,042	27,911
販売促進支援金	18,265	13,309
その他	23,165	15,841
営業外収益合計	78,256	65,050
営業外費用		
支払利息	60,511	36,837
その他	10,447	15,298
営業外費用合計	70,958	52,136
経常損失(△)	△65,032	△568,422
特別利益		
固定資産売却益	14	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産売却損	38	—
固定資産除却損	843	8,368
減損損失	—	7,436
特別損失合計	881	15,805
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,899	△584,228
法人税、住民税及び事業税	14,134	14,144
法人税等調整額	△774	△113,738
法人税等合計	13,359	△99,593
四半期純損失(△)	△79,259	△484,634
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,259	△484,634

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△79,259	△484,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,212	16,423
退職給付に係る調整額	△34,822	△23,544
その他の包括利益合計	5,389	△7,121
四半期包括利益	△73,869	△491,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,869	△491,755

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負 事業	分譲事業	ホームイ ング事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	10,192,197	6,825,019	3,092,285	1,018,750	21,128,253	—	21,128,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	538,082	—	538,082	△538,082	—
計	10,192,197	6,825,019	3,630,368	1,018,750	21,666,336	△538,082	21,128,253
セグメント利益または セグメント損失(△)	△241,588	496,243	193,804	49,727	498,186	△570,516	△72,330

(注) 1. セグメント利益またはセグメント損失の調整額△570,516千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益またはセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負 事業	分譲事業	ホームイ ング事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	9,513,161	2,812,487	3,205,618	1,024,957	16,556,224	—	16,556,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	561,802	—	561,802	△561,802	—
計	9,513,161	2,812,487	3,767,420	1,024,957	17,118,026	△561,802	16,556,224
セグメント利益または セグメント損失(△)	△259,303	61,241	220,613	△4,763	17,787	△599,124	△581,336

(注) 1. セグメント利益またはセグメント損失の調整額△599,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益またはセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループでは、生産実績を定義することが困難であるため、「生産実績」は記載を省略しております。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業	10,484,174	89.6	10,443,478	91.1
分譲事業	5,176,204	131.0	4,031,966	61.0
ホームイング事業	3,205,618	103.7	—	—
その他事業	1,024,957	100.6	—	—
合計	19,890,955	100.7	14,475,444	80.1

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前期以前に受注した工事で契約内容の変更により請負金額が変更したのものについては、受注高にその増減を含めております。

3. ホームイング事業及びその他事業については、施工期間が短く繰越工事量が少ないため、受注高は販売実績により表示しており、受注残高については表示しておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業(千円)	9,513,161	93.3
分譲事業(千円)	2,812,487	41.2
ホームイング事業(千円)	3,205,618	103.7
その他事業(千円)	1,024,957	100.6
合計(千円)	16,556,224	78.4

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。